



国立国会図書館 百福寿老人 3巻 208-494



ガラス使用

百福寿老人
柳石上作
完

寛政六年



上



吉



喜望の化しぬまを夢老人と唱へ
 をさし後夢州といふ玉後夢まは来り
 こせし何のつハ菊壽後考らぐらえてより
 ちまふいののぼりのまのまハ子供が怒び
 賀の解のまハ仕年も何中つらん
 いのらあごのまればとらぬりしと菊好が
 中ぐ撫るぬれどまの命ハ後禄まののこ
 あろぐりくよと有るまゆへ長命の人のを
 傳つて後まの老人と外題して老も
 名中つまのまのよ一鳥をそへ伝ふ

東のちのま

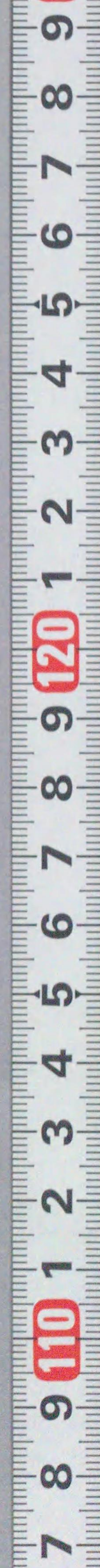
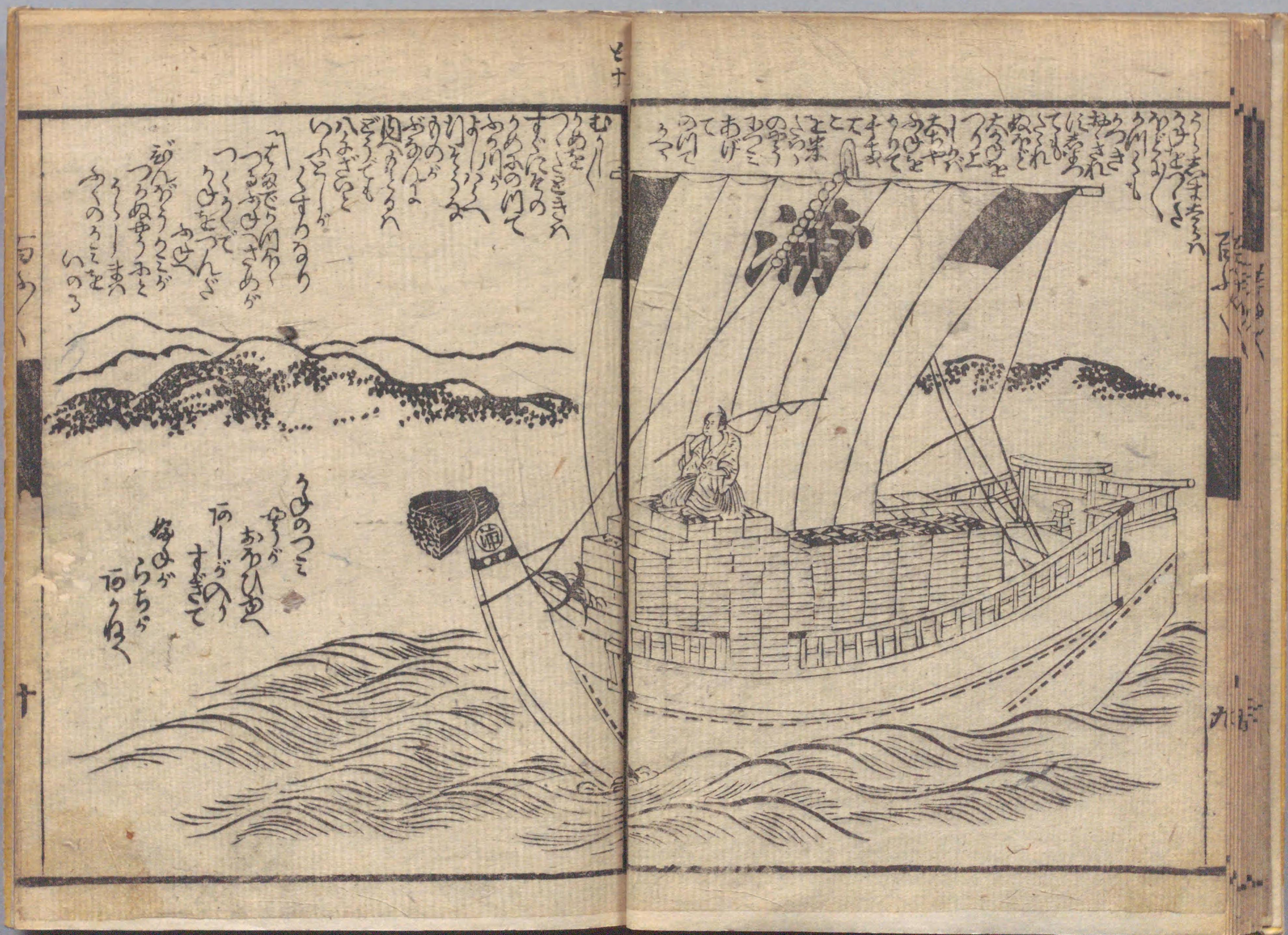
石上



7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

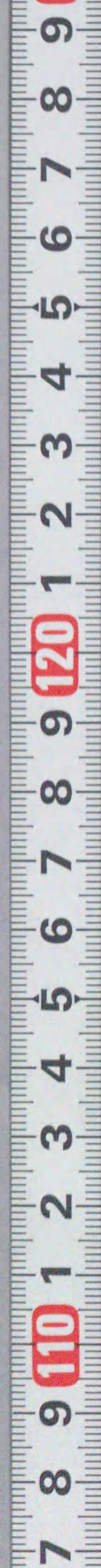




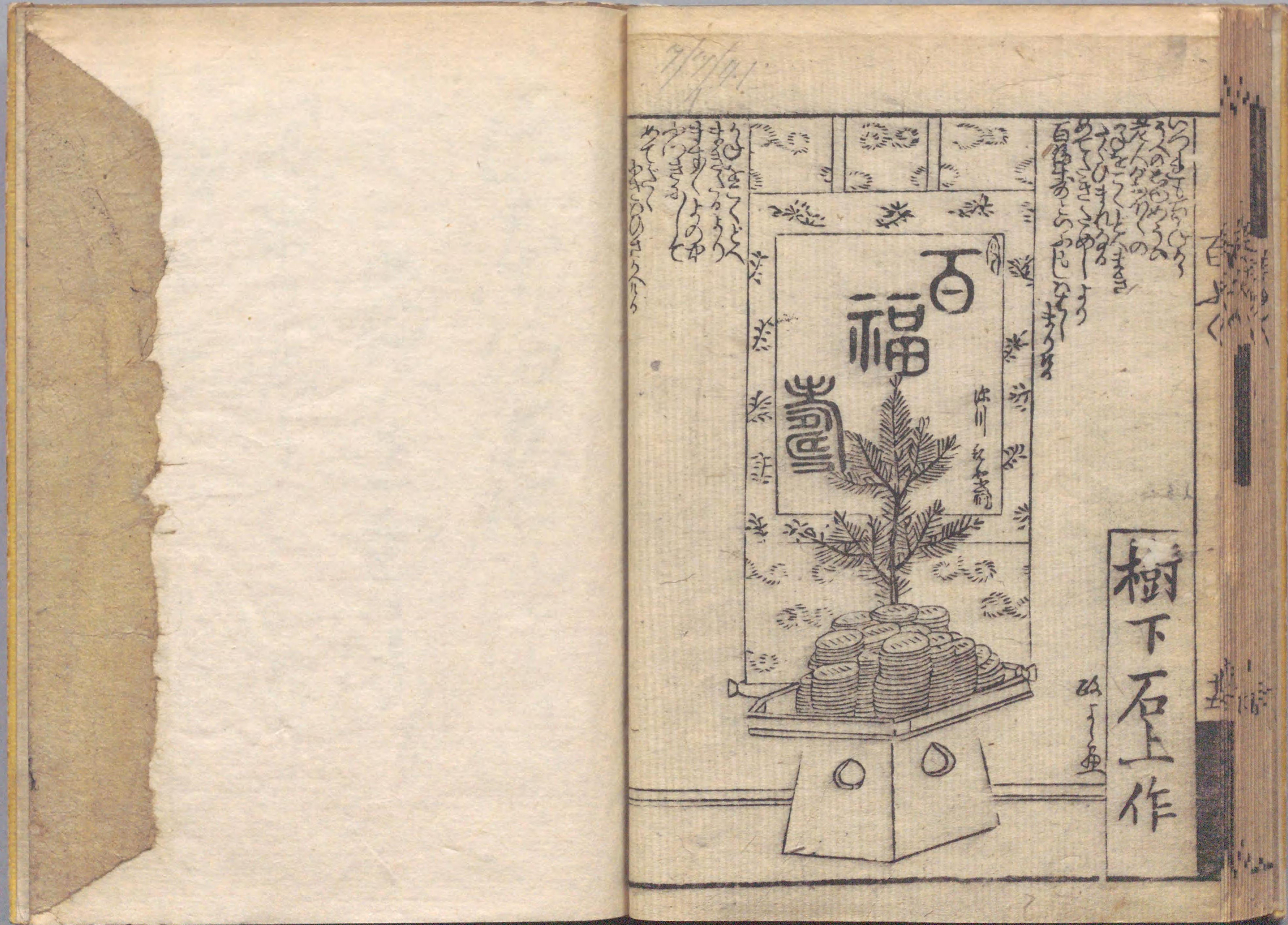


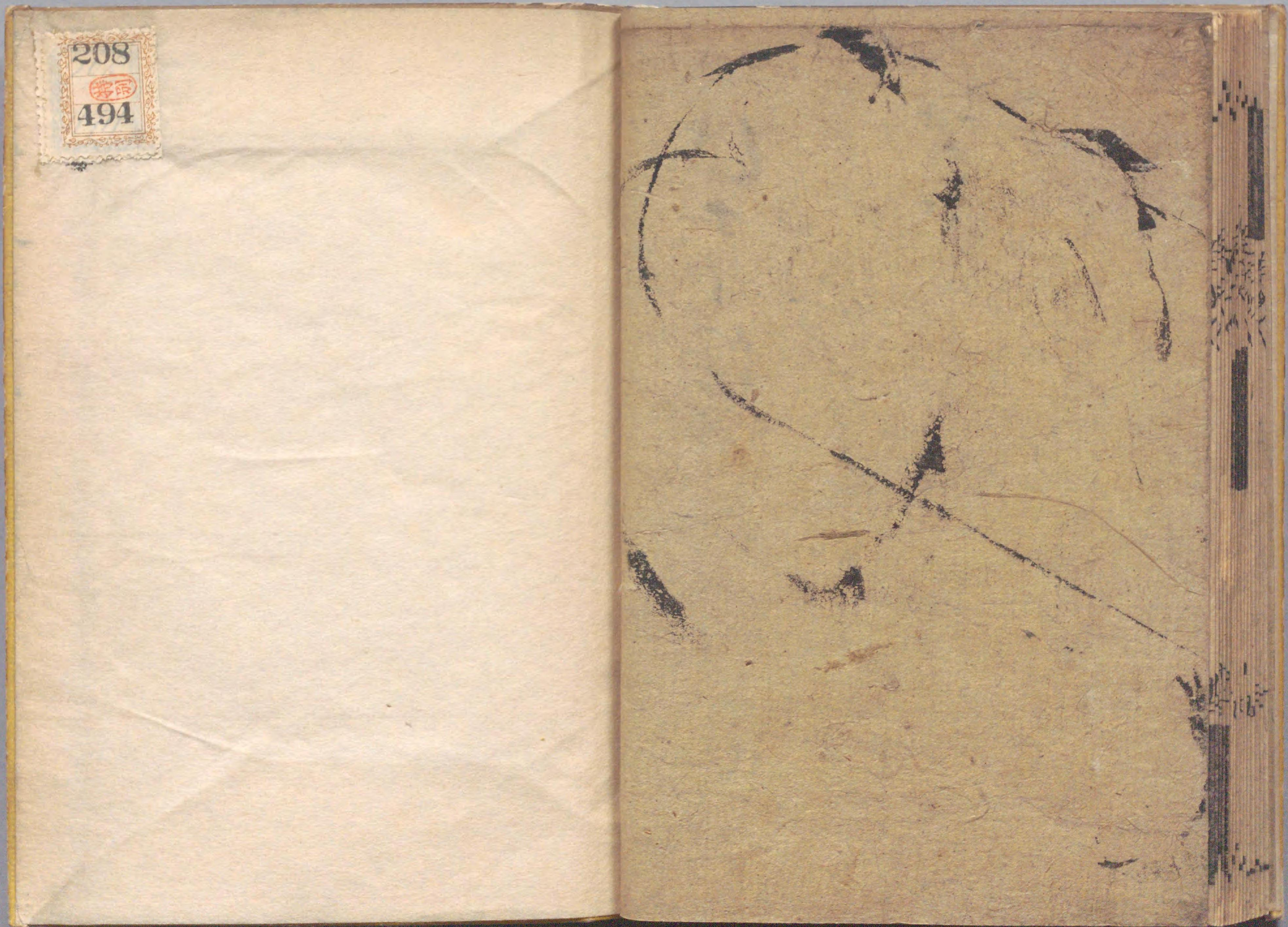
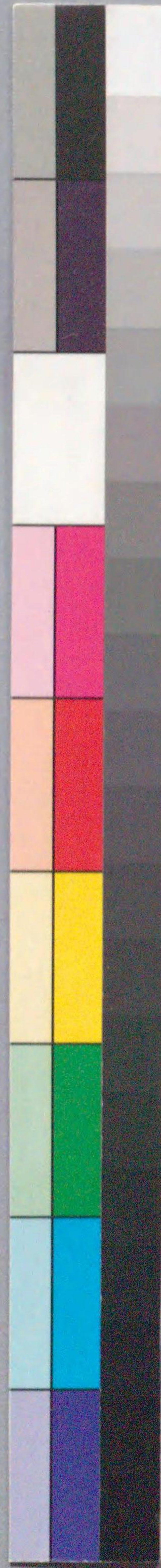










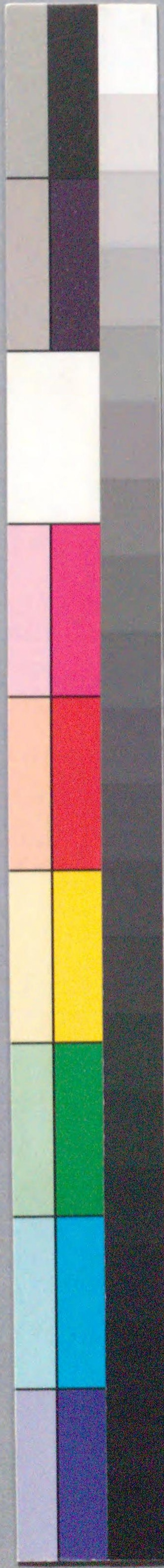


208
494

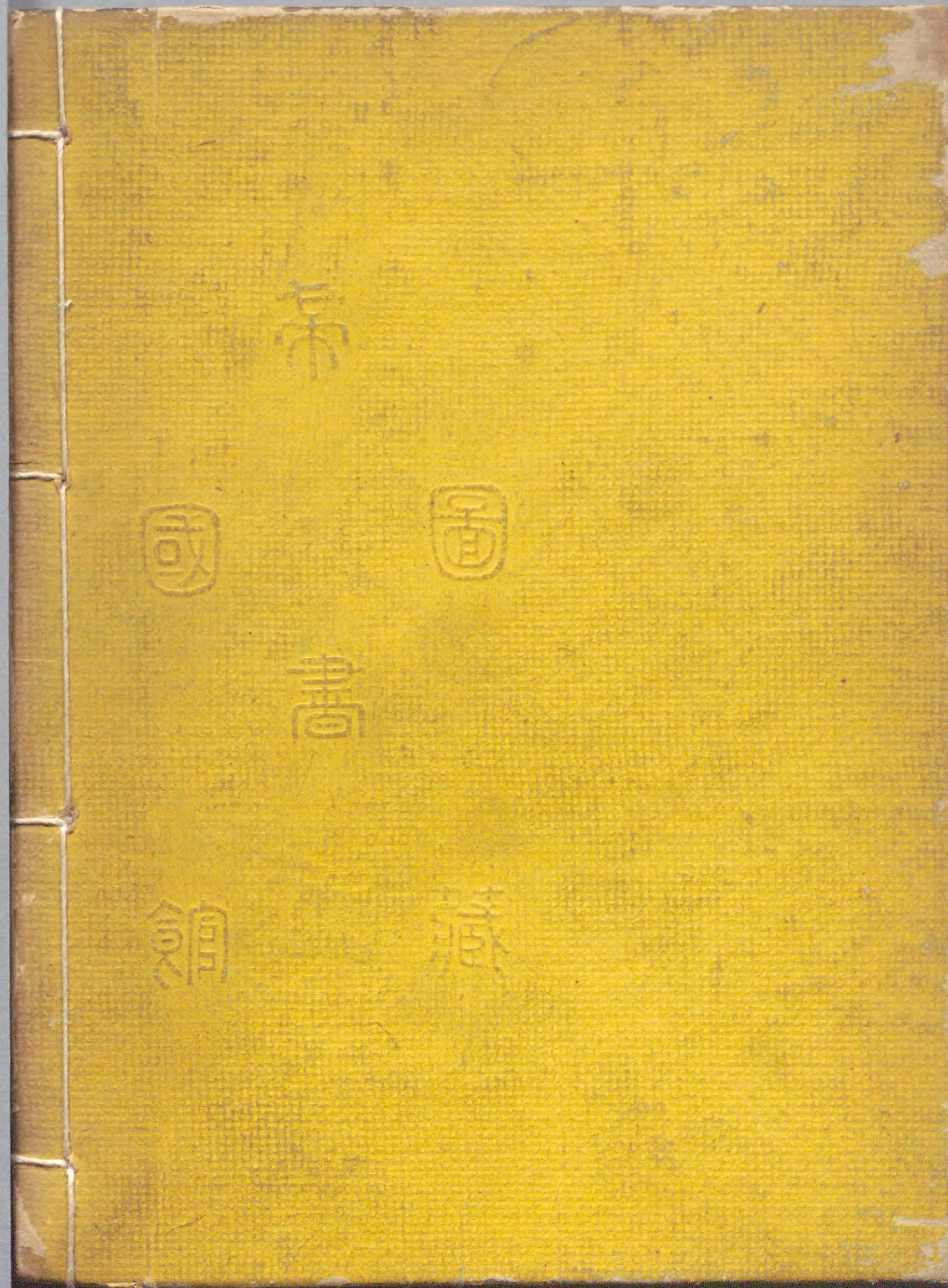
国立国会図書館 百福寿老人 3巻 208-494

ガラス使用





国立国会図書館 百福寿老人 3巻 208-494



ガラス使用

